



ARIKO コミュニティ* スクール通信

佐賀県立有田工業高等学校 学校運営連絡協議会

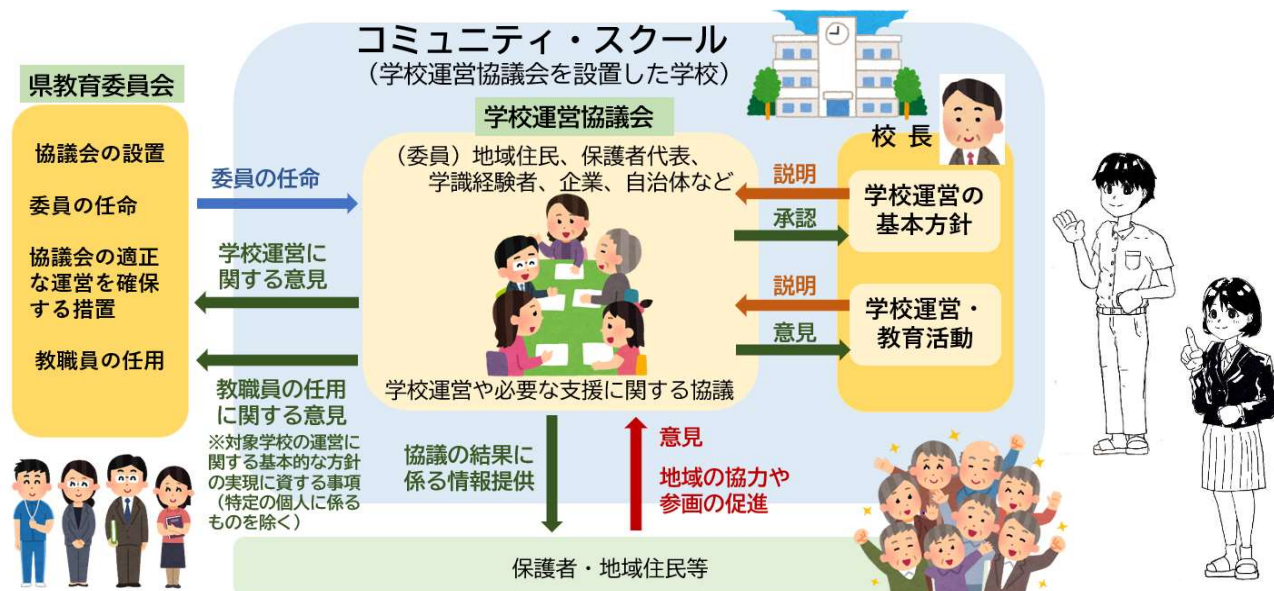
令和4年5月24日 第1号

SAGA COLLABORATION SCHOOL 2022

☆ SAGA コラボレーション・スクール(SCS)指定校として、佐賀県立有田工業高等学校はコミュニティ・スクールを導入し、学校運営協議会を設置します!!

佐賀県教育委員会では、令和4年度の新規事業「SAGA 唯一無二の学校魅力化実践事業」として「SAGA コラボレーション・スクール(SCS)」として県立高校9校(うち重点校4校)を指定し、本校は**重点校の指定**を受けました。また、SCS 指定校は**コミュニティ・スクールを導入**することになりましたので、本年度より学校運営協議会(SCS 指定校における名称「学校魅力強化委員会」)を設置します。

本校では「有田の伝統産業や大学と協働したデザイン、セラミック等の専門的・実践的な人材育成と県外募集の促進」に取り組むため、地域や企業・大学等と連携・協働した学校運営を行う予定です。現在、第1回学校運営協議会(6月下旬)開催に向けて準備をしています。



佐賀県立有田工業高等学校 学校運営協議会「学校魅力強化委員会」設置によって期待される効果

本校は有田町内唯一の高校として、120年を超える歴史と伝統、実績を誇っており、全日制(セラミック科・デザイン科・電気科・機械科)と定時制(セラミック科・デザイン科)をもつ工業高校です。

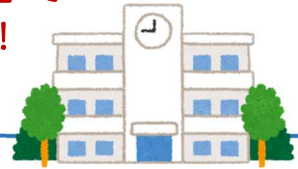
学校運営協議会の設置を通して、これまで以上に学校と保護者と地域が目標とビジョンを共有し、一体となり、有田町の地元産業界や自治体、大学等との連携を深めることで、学校運営に関する意見を反映し、新しい視点から地域と協働した学校づくりを推進し、学校魅力化や特色ある学校づくりのさらなる強化をめざします。

また、有田町のもつ地域の資源や力を教育活動に活かすことで、社会に開かれた教育課程のより一層の充実につなげ、本校生徒による地域活性化の取組やまちづくりへの貢献活動を通して、持続可能な学校運営を行い、有田町の将来を担う有為な人材を輩出したいと考えています。

本校では、令和3年度から全日制のセラミック科・デザイン科において生徒全国募集「地域みらい留学」では、有田町と連携協定を結んで取り組んでいます。本協議会の設置によって、地域に密着した学校であることが目に見える形となり、有田町に住んで、有田の魅力を感じながら有田工業で学ぶ生徒の全国募集促進につなげたいと考えています。



「人がつながり 人がつどう 世界に誇れる町 有田」で
特色ある学科の魅力発信 × 全国募集の促進!!



コミュニティ・スクールに関するQ&A

Q. コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）って何？

A. コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置している学校のことです。コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校づくり」への転換を図るための有効な仕組みです。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めています。県立学校では、県教育委員会が設置の承認をします。

Q. 学校運営協議会の委員の選出は？

A. 委員の任命に関する学校長の意見の申出（推薦）を受けて、県教育委員会が任命します。協議会の委員は、地方公務員法第3条第3項第2号に該当し、特別職の地方公務員の身分を有することになります。佐賀県教育委員会の規則では委員は15名以内とし、以下に掲げる者を委員として選出します。次号で、委員の紹介をします。

- (1) 対象学校の所在する地域の住民
- (2) 対象学校に在籍する生徒、児童又は幼児の保護者
- (3) 対象学校の運営に資する活動を行う者
- (4) その他教育委員会が必要と認める者



Q. 学校運営協議会の役割は？

A. 「学校運営協議会」は、主に3つの機能を有します。

- 校長が作成する学校運営の基本方針の承認をすること
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができること
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができること

また、地教行法の改正（H29）によって、以下のことも加わりました。

- 学校運営への必要な支援に関する協議



☆ 有田陶器市への参画 ☆ ～有田の町が学びのフィールドに～

3年ぶりに開催された有田陶器市。有田商工会議所の依頼で、有田工業高校の87人が「陶器市アルバイト」をしました。県内外から多くの方が訪れ、賑わいと活気を見せた有田の町。

生徒たちは、駐車場担当、陶磁器販売や展示会場の案内、各店舗での軽食販売などを通して、たくさんの方々と触れ合い、有田の魅力を肌で感じる貴重な経験になったことと思います。

